

藍住町

第87号

平成28年11月25日

9月定例会

平成28年度一般会計補正予算	P. 3
平成27年度一般会計・特別会計決算認定	P. 4～5
常任委員会～主な質疑～	P. 6～7
一般質問 ～町政のことが聞きたい～	P. 8～13
議員視察研修～山形県河北町・東京都江戸川区～	...P. 14
わたしの一言・議会のうでき	P. 16

議会だより

あいずみファミリースポーツフェスティバル (町民体育館)

9月議会定例会が9月5日から23日までの19日間の会期で開会されました。上程議案のうち、決算認定8件、補正予算1件、条例改正4件については、3つの常任委員会にその審議を付託し、最終日には全件原案のとおり可決されました。

一般質問では6人の議員が登壇し、町政について質問しました。

9月定例会

各種功労者表彰

11月3日、藍住町各種功労者表彰式が行われ、町議会議員として通算12年以上となった者として、元議員の江西博文氏、小堀克夫氏、現職議員の小川幸英氏、林茂氏が表彰されました。



林 茂氏



小川 幸英氏



小堀 克夫氏



江西 博文氏



藍住町町民栄誉賞条例を制定・松友美佐紀氏に町民栄誉賞を授与

9月5日、藍住町町民栄誉賞条例を全会一致で可決。9月27日、石川町長より松友美佐紀氏に町民栄誉賞を、また森議長より記念品をお贈りしました。

～町長提案～

- 藍住町町民栄誉賞条例の制定 原案可決
- 平成27年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（介護保険事業）歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（介護サービス事業）歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（後期高齢者医療事業）歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（藍寿苑介護サービス事業）歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（水道事業）利益の処分及び歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（下水道事業）歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成28年度藍住町一般会計補正予算 原案可決
- 藍住町税条例等の一部を改正する条例の一部改正 原案可決
日本と台湾との間で租税条約に相当する内容の取決めが結ばれたことによる
国内法の整備のため条例の一部を改正
- 藍住町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部改正 原案可決
- 藍住町重度心身障がい者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正 原案可決
ひとり親家庭等の子供の通院に係る医療費を助成事業の給付対象に加えるため条例の一部を改正
- 藍住町営住宅設置及び管理に関する条例の一部改正 原案可決
住宅要件等を定めるため条例の一部を改正
- 藍住町教育委員会委員任命の同意 廣瀬浩美氏・岸本政典氏・筒井あけみ氏
- 固定資産評価審査委員会委員選任の同意 森憲一氏
- 藍住町町民栄誉賞授与の同意 松友美佐紀氏

～町長報告～

- 平成27年度財政健全化判断比率の報告
- 平成27年度水道事業会計資金不足比率の報告
資金不足なし
- 平成27年度下水道事業会計資金不足比率の報告
資金不足なし

諮 問

- 人権擁護委員候補者の推薦 廣瀬浩美氏・嶋田宗弘氏

平成28年度一般会計補正予算

歳入歳出
それぞれ

1 億4,600万円増額

～主な補正内容（1万円未満切り捨て）～

総 務 費

- ◆ 企画費 450万円
(地方創生加速化交付金事業委託料・観光交流資源魅力化プロジェクト)
- ◆ 危機管理対策費 877万円
(地域防災計画見直し・避難所ソーラー照明設置)

民 生 費

- ◆ 保育所総務費 330万円
(認可保育所への保育対策支援事業補助金)
- ◆ ファミリーサポートセンター事業費 340万円
(病児預かり事業整備費委託料)

衛 生 費

- ◆ 鳴門・藍住アルゼンチンアリ対策協議会負担金 90万円

予 算
総 額

127億6,900万円

農林水産業費

- ◆ 一般排水路改良費 1,660万円
- ◆ 地籍調査事業費 429万円

土 木 費

- ◆ 道路簡易舗装費 2,000万円
- ◆ 一般町道新設改良費 480万円

消 防 費

- ◆ 常備消防費 853万円
(旧通信指令施設撤去等負担金)
- ◆ 災害対策費 340万円
(被災者支援システムの構築・避難所緊急安全診断事業委託料)

教 育 費

- ◆ 小学校総務費 146万円
(放課後福祉連携支援事業)

町からの 主な報告

○（仮称）藍住町文化ホール公共施設複合化事業、修正設計業務の入札を実施し、株式会社教育施設研究所大阪事務所に決定。

○ 観光交流資源魅力化プロジェクト「藍の魅力発信プロジェクト検討委員会」を立ち上げ、12月4日「インディゴコレクション2016」イベントの開催を計画。

○ 待機児童対策として、住吉地区に新施設の整備を進める。定員40人で平成29年4月1日の開設を目指す。

○ 学童保育の利用料について、今年度より多子世帯の第3子以降の無料化等を実施。

○ 小中学校の耐震対策について、ガラスの飛散防止策として改めて調査を行い対策を検討する。

決 算 認 定

実質収支額 **1億9,498万円**の黒字決算

歳入総額	107億1,846万円
歳出総額	103億3,448万円
歳入歳出差引額	3億8,398万円
継続費通次繰越・繰越明許費繰越額	1億8,900万円
実質収支額	1億9,498万円
財政調整基金繰入額	1,950万円
平成28年度への繰越額	1億7,548万円

歳入歳出差引額から、繰越明許費繰越額（28年度の特定事業への繰越額）を差し引いた実質収支額は1億9,498万円の黒字となりました。

実質収支額の10%である1,950万円を財政調整基金（町の貯金）へ積立、残り1億7,548万円を28年度へ繰越しました。

★平成27年度決算の状況★

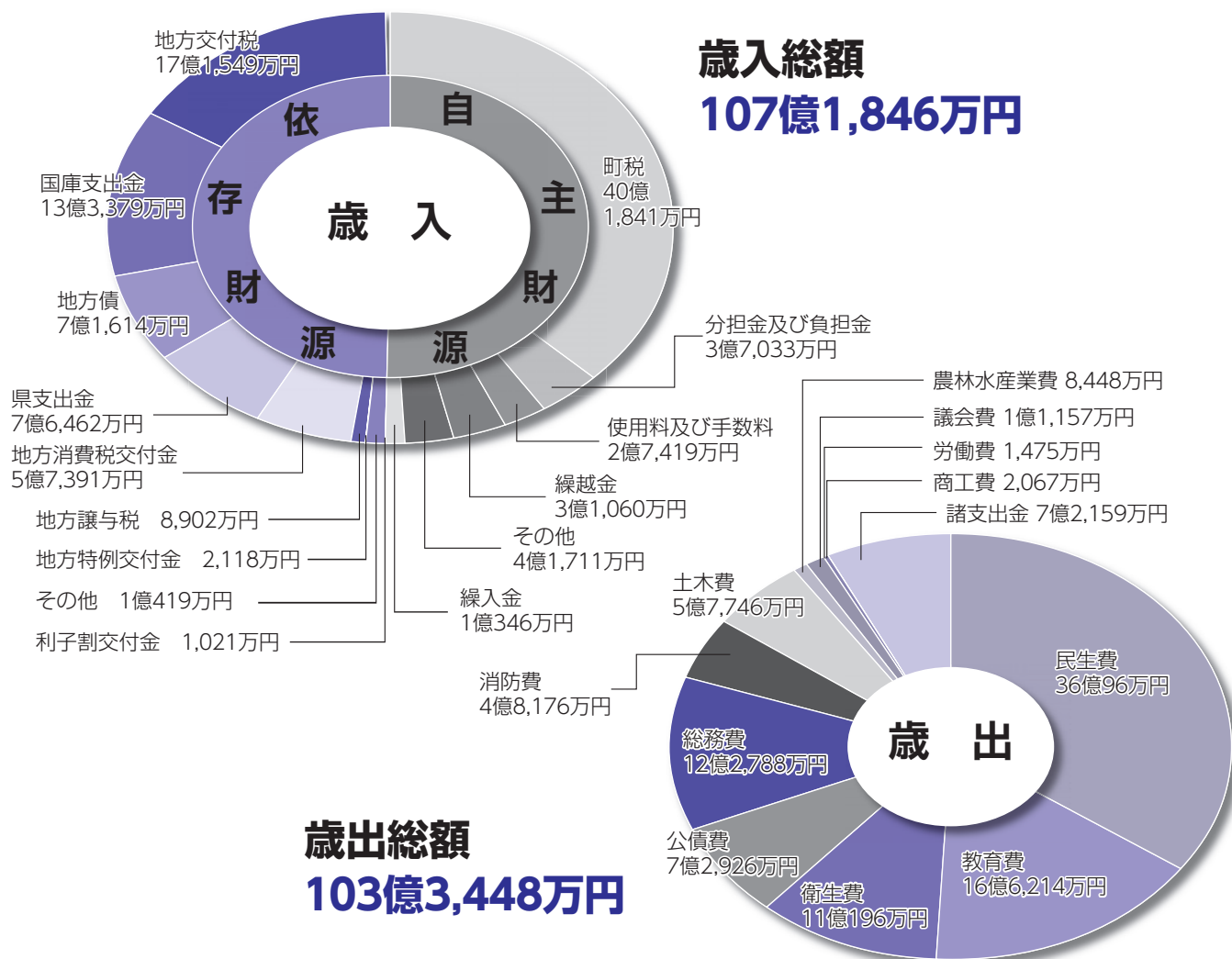
区 分		歳 入 額	歳 出 額	継続費通次繰越・繰越明許費	実質収支額
一 般 会 計		107億1,846万円	103億3,448万円	1億8,900万円	1億9,498万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	37億246万円	36億7,892万円	0円	2,354万円
	介 護 保 険 事 業	24億275万円	23億7,909万円	0円	2,366万円
	介 護 サ ー ビ ス 事 業	1,254万円	1,254万円	0円	0円
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	2億7,042万円	2億6,066万円	0円	976万円
	藍寿苑介護サービス事業	3億1,450万円	3億1,450万円	0円	0円
	下 水 道 事 業	4億4,336万円	4億3,584万円	0円	752万円

区 分		収 入 総 額	支 出 総 額	収益的収支純利益(消費税調整後) および資本的収支不足額
水 道 事 業	収益的収支	5億3,491万円	4億20万円	1億2,816万円
	資本的収支	2,731万円	1億1,093万円	△8,362万円

※水道事業の資本的収支不足額については、内部留保資金等で全額補填しました

平成27年度

一般会計・特別会計



★健全化判断比率★

指標	平成27年度	早期健全化基準※1	備考
① 実質赤字比率※2	—%	14.15%	実質黒字額 194,978千円
② 連結実質赤字比率※3	—%	19.15%	連結実質黒字額 1,227,833千円
③ 実質公債費比率※4	4.9%	25.00%	
④ 将来負担比率※5	—%	350.00%	

※1 早期健全化基準を一つでも超えると「財政健全化計画」を定めなければならない

※2 一般会計に生じている赤字の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

※3 水道など公営企業を含む全会計に生じている赤字の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

※4 借入金（町債）の返済額（公債費）の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

※5 借入金（町債）などの現在抱えている負債の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

常任委員会 主な質疑

9月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。
各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で原案可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。
主な質疑・意見については次のとおりです。

総務文教常任委員会

平成27年度 一般会計決算

〔賦課徴収費〕

徴収の仕方は。

〔答〕 納付だけではない方には、何度か文書催告等を行い、それでも納付がない場合は、預貯金調査をし、財産があれば差押えをしている。

〔問〕 報償費とは何か。

〔答〕 固定資産税の全期前納分に対して支払うものである。

〔繰越明許費〕

〔問〕 1億1213万7千円を繰越す理由は。

〔答〕 10件の事業で繰越しとなっており、3月に国からの補助金が決定して、3月中には実施できないものや、個人情報等の安全管理措置対応などがある。また、認可保育所の大規模改修は、相手方の都合によるものなど、平成27年度に何らかの理由でできなかった

め、繰越しとなっている。

また、繰越したものは次年度への繰越しはできないため、今年度内で実施することとなる。

〔財務会計システム 更新事業〕

〔問〕 クラウドに加入したのか。

〔答〕 クラウドではなく、町で仮想サーバーを構築し、その中に確定申告システム、家屋評価サーバー、人事給与サーバー等、複数のシステムを集約することで、経費の削減になった。

〔木造住宅耐震化 促進事業〕

〔問〕 耐震診断を受けた24戸の結果はどうだったのか。

〔答〕 診断後、倒壊する恐れのあるものもあり、耐震改修カリフォルニア事業に取り組まなければならない。

また、耐震診断後、改修等を行っているのは約1割で、今後も引き続き周知に努めたい。

〔中学校空調機器 設置事業〕

〔問〕 7400万円起債を組んでいるが、国、県の補助はないのか。

〔答〕 補助率が低かったため、起債を充てることが有利であると判断した。

〔藍住東中学校 体育館屋根改修事業〕

〔問〕 こちらについても、国、県の補助はなかったのか。

〔答〕 国、県の補助はなかったため、交付税措置がある起債を充てた。

〔災害用備蓄事業〕

〔問〕 備蓄について一定の設定があるのか。

〔答〕 県の備蓄方針では、1日目は住民が準備、2日目は町が準備するとされており、町では広域被災を考

え、おおむね3日分程度を目標に進めている。

〔交通安全対策事業〕

〔問〕 防犯灯23基はLEDの新設か。

〔答〕 町内の防犯灯は、例外を除き、ほぼLEDになっており、この23基は新設である。

平成28年度 一般会計補正予算

〔橋梁維持費〕

〔問〕 国庫支出金が187万円減額になった理由は。

〔答〕 社会資本整備事業補助金で鳴門藍住大橋の事業であるが、事業費が変更になって減額されたわけではなく、国、県の補助金が確定したことにより減額となった。



備蓄の状況（藍住町防災備蓄倉庫）

厚生常任委員会

平成27年度

一般会計決算

奥野児童クラブ

新築事業

問 収容人数は。また、待機児童はいないのか。

答 学童保育での待機児童はいない。新しい施設では45人程度収容できる。

あいずみ保育園大規模改修事業

問 待機児童の解消はできたのか。

答 縮減はできたが解消には至っていない。現在、60人余りが待機状態であり、当面、2か所の認可保育所を増やしていく考えである。そのうち1か所については、平成29年4月の開設を目指して今後、具体的に進めていく。

平成27年度

国民健康保険事業会計決算

問 収入未済額が1億5250万6千円もある



が、どのように徴収しているのか、また、収納率について他市町村との比較は。

答 催告等で積極的に徴収に努めたい。
また、平成27年度の収納率は94・33%で、他市町村との比較では、平均より上である。

平成27年度

介護保険事業会計決算

問 欠損額と収入未済額は平成26年度と比較してどうなのか。

答 徴収率は98・7%で若干上がった。介護保険料は2年で徴収権が消滅するため、この不能欠損は平成25年度分の未収分である。

建設産業常任委員会

平成27年度

一般会計決算

路面性状調査事業

問 334万8千円の内訳は。

答 主要な町道における路面状況の調査を行った費用である。調査の結果は、わ

だち掘れが主な要因であり、空洞箇所はなかったが、来年度以降、この調査に基づき、修繕が必要と思われる箇所は、年次計画的に修繕を進めていきたい。

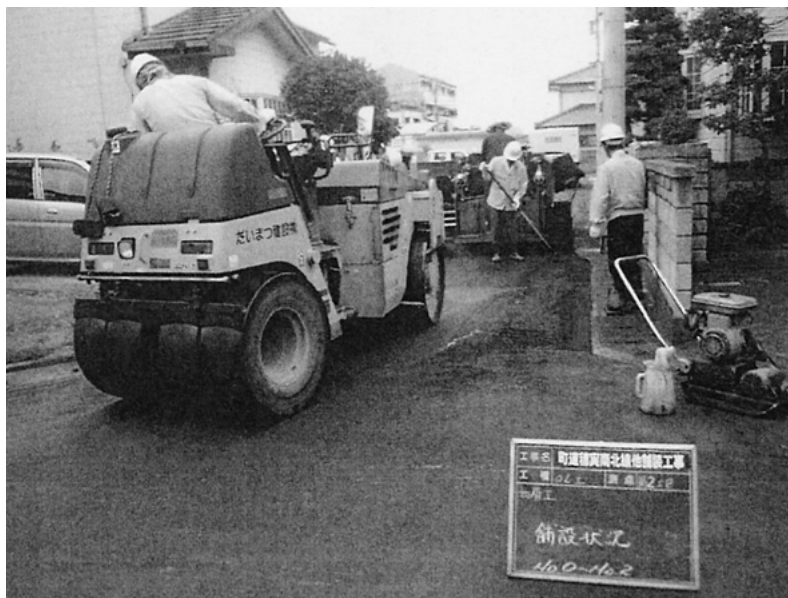
道路維持事業

問 歩道の年間整備計画と進捗状況は。

答 年次計画的に修繕はできている。歩道の改良、舗装等は、住民の方から指摘があった箇所から現地を確認し、順次、修繕をしており、今後は年次計画を立て、修繕、補修等を行っていききたい。

【意見】

昨年までは排水路の浚渫



舗装工事施工状況 (富吉)

が非常に悪かったが、今年は改善されていた。今後も引き続き点検を行ってみたい。

【意見】

県道松・藍住線の除草作業について、県へ要望してもらいたい。

平成27年度

水道事業会計決算

問 給水状況の有収率を上げる努力はどのようにしているのか。

答 平成27年度の有収率は前年度と同率の89・7%で、毎年定期的に漏水調査を実施し、漏水箇所の修理を行っているが、並行して老朽管を計画的に布設替えることで、有収率を上げていきたいと考えている。

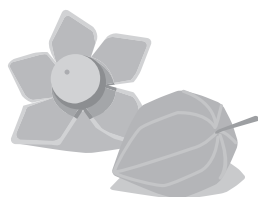
【意見】

今後、改善の取組に努めること。

問 町営住宅の申込みで町外の申込者はどのぐらいいるのか。

答 町営住宅は募集戸数より入居希望者が多いため抽選により入居者を決めており、平成27年度に1回募集をしたところ、16人の希望者のうち2人が町外の方であった。

町外の方の申込み割合は多くないが、町外の方が、初めての申込みで当選することもあったため、今回、入居者資格について、住所要件等を定めることにした。



男女共同参画社会の推進について

積極的に女性の登用を図る



西岡 恵子 議員

問 平成21年3月に藍住町男女共同参画プランを策定、その実現に取り組んできましたが、推進過程で見えてきた、固定的な性別役割分担意識が根強くあることや、家庭内暴力などの人権侵害等の課題に対し、平成26年3月に、第2次藍住町男女共同参画プランを策定し、平成30年までの5か年で「男女が共に個性と能力を発揮できる社会の実現」を目指していますが、具体的な取組について尋ねます。

答 男性の意識改革と、女性自身が政策・施策決定の場に参画する意識を高めることが必要だと考えており、啓発に努める。審議会、委員会における男女比率を改善し、男女が対等に政策や方針決定に関われるよう、積極的に女性の登用を図る。

災害時要援護者支援対策について

個別避難支援プランの作成を目指す

問 福祉避難所は、災害時に健康な人と同じ環境で、生活するのが困難な介護の必要な高齢者や障がい者、妊婦等を受け入れる要援護者に配慮した場所ですが、本町の指定状況は。

答 現在、福祉避難所は、身体障がい者向け施設1か所のみの指定となっております。障がい者の方や在宅要介護高齢者の方など、それぞれに避難施設が必要であると考えている。今後も、福祉避難所の確保に努める。避難行動要支援者名簿登録数は1026人。災害時に適切な避難行動が支援できるよう、民生委員や防災組織等と協議し、最終的には個別避難支援プランの作成を目標に進めていきたい。SNSについては、情報がありリアルタイムで発信や収集ができる利点があり、今後の課題として検討していく。

小中学生の自殺予防について 予防教育に加え、命を尊重する 授業等を実践

問 自殺者全体の数が減少している中、若年層の自殺率、特に思春期の12歳から17歳、中高生の自殺は増加傾向です。小中学校の自殺は、家庭生活、学校生活に起因するとのデータがあり、その中には、人として決して許されない行為、いじめ問題もあります。予防教育への取組について尋ねます。

答 小学校3年生から中学校1年生までの5年間を対象としたプログラムがあり、藍住町では、平成23年度から研究を始め、今年度、小学校3年生から中学校1年生までの全学校、全クラスで実践する。今後とも予防教育を実践し、いじめ予防に努める。



予防教育授業の様子（藍住南小学校）

その他の質問

○地球温暖化防止対策について

台風・豪雨・津波避難に備え人工高台設置を

具体的な設置予定はない



今後、避難計画を進めていく上で、国等の助成を受けて設置している他の団体の例も参考に研究していく。

〔答〕 人工高台の設置については、用地の地盤改良、周辺への影響などの問題もあるため、具体的な設置予定はない。

藍住町も想定外の災害を含めた対策として、国の補助を受け人工高台設置を。

〔問〕 小松島市和田島に、国の補助を受け約1億5千万円で建設した津波避難施設の人工高台「命山」が完成し、8月1日から一般開放されている。



永濱 茂樹 議員



日本 PTA 全国研究大会の様子
(アスティとくしま)

〔問〕 平成28年8月20日、21日、第64回日本PTA全国研究大会、第45回四国ブロックうずしお大会が盛大に開催され、県内7分科会に分かれて講演会が行われた。人権教育「未来につなげかけがえのない・いのち」として、いじめが原因での自殺問題、自殺に追い込まれた若い命、夢を絶たれた心中、両親家族の心情は、やるせない気持ちである。

〔答〕 藍住町では、平成26年6月に町内の保育所、幼稚園、小中学校のPTAが主体となつて教育7箇条を作成している。PTAが主体となつて作成した事例はほかにはなく、この活動を大切に、今後とも、家庭、学校、地域社会、行政で連携しながら、子供たちの健全育成に一層努める。

教育問題
家庭・学校・地域社会等で連携し、
健全育成に努める

その他の質問

- 8月21日PTA全体会がアスティとくしまにおいて、5千名の参加で盛大に開催
- 災害時の特設公衆電話回線導入対策
- スマートフォンポケンモンGO問題提起対策

災害に備え町内の抜本的排水対策を

計画的に布設替えを行い、本管機能維持に努める

〔問〕 町内の古い水道管の見直しや取替え、土地・地盤の低い箇所、町内側溝の見極めを。
また、熊本地震を教訓に、活断層を含めた防災講演、防災講座を講じていただきたい。

〔答〕 古い水道管の見直し取替えについては、現在、町内に約6・5kmの石綿管が残っており、その布設替工事を毎年、継続的に行っている。今年度も950m分を布設替えする予定。
また、水道本管の点検は、毎年、地区を決め、音聴棒や漏水探知機による漏水調査を行っており、今後も、漏水調査を継続するとともに、老朽管については、計画的に布設替えを行い、本管の機能維持に努めたい。

国保は低所得者対策を

現行の保険税減免制度は維持



林 茂 議員

問 高すぎる国保料の要因は、国の予算削減と年金生活者、失業者や非正規の方も多く加入。国庫負担の増額や低所得者に対する手厚い施策が必要。

①滞納すると保険証の差止めや差押えが行われるが状況は。
②無料低額診療制度を町が紹介すること。

答 ①短期被保険者証の世帯数331世帯、資格証明書の世帯数2世帯、平成27年度の差押え件数10件。
②県内では、徳島健生病院と社会福祉法人小渦会が事業を実施している。

教育問題

エアコン工事は今年度計画
していた電気工事業者を決定

問 エアコン設置工事を早くし、就学援助制度の周知徹底を。

①小学生の弟が「お兄ちゃんはクーラーが付いていていいなあ。僕や、暑うていけん。」という話をしていて。お母さんも早く付けてと言っている。エアコン設置工事遅れの原因は。

②給食費等の滞納が増大。

次の世代を担う子供たちを育てる役割と経済的支援、困難な家庭を見逃さない仕組みづくりが町政の課題。全ての家庭に分かりやすく、学校を通じて全児童生徒に配布し、広報で周知を。

③入学準備金の支給は前倒しで3月末に支給を。

答 ①4小学校同時に行うため、平成28年度に電気工事、平成29年度に空調機器の設置工事を実施する。現在、実施設計が終わり、電気設備工事についても、指名競争入札で業者を決定している。

②在校生に対しては、2月に説明書でお知らせし、新入学生・転校生については、4月に書類を渡している。

③書類の申請、認定と時間が掛かるため難しい。



藍住中学校に設置されたエアコン

介護保険料と高齢者福祉

保険料基準額の割合を軽減

問 ①生活保護基準以下の所得階層から介護保険料を徴収しており保険料の大幅な減免、免除を考慮すること。
②保険料滞納者に対するペナルティーと実施状況は。
③文化ホールの建設予定地の除草作業をシルバー人材センターの就労支援対策として検討すること。人材センターの事務所移転先にも協力を。

答 ①低所得者の負担軽減を図るため、保険料基準額の第1段階の割合を50%から45%に軽減。

②滞納した年数によって、全額負担後に保険給付分の支払いを受ける償還払い化や、給付の一時差止めとなる。平成27年度で償還払い化の措置4名、一時差止め5名。

③大型の機械を使つての作業だったため、業者にお願いをした。今後は検討する。移転先については、藍住町で遊休土地や空き施設がある場合は、検討できるが、今、老朽化等の問題で、安心して貸せる施設はない。

子育て支援の充実について

高校卒業までの
医療費無料化は困難

問 高校卒業までの医療費無料化について、町単独で3千万円の費用を負担し、子供の医療費支援の充実を図っており、高校卒業までにした場合1120人増え、2068万円の財源が必要となるため、高校生までの拡大は考えていないとのことであったが、増える財源難を理由に子育て支援を渋ってはいけない。本町においても再度考えていただきたい。

答 子供の医療費無料化については、従来から積極的に取り組んでおり、平成22年7月からは、町単独事業として、所得制限を設けることなく対象者を小学校卒業までから中学校卒業までに拡大し、子育て支援の充実を図っている。

県の補助事業の対象は小学校卒業までであり、現時点では困難である。

学校教育の充実について

関係者と連携しながら
不登校の解消に努める



小川 幸英 議員

問 不登校児童の現状と取組について、昨年度小学校では学校を休みがちな子11人、不登校児童生徒のための適応指導教室であるキャロツ子学級に通級している子4人、在宅不登校傾向にある子3人で合計18人。中学校では学校を休みがちな子7人、キャロツ子学級に通級している子10人、在宅不登校傾向にある子11人で

合計28人となっており、中学校校合わせて46人とのことであったが、本年度の現状と対策は。

答 7月時点では、小学校で学校を休みがちな子6人、キャロツ子学級に通級している子2人、在宅不登校傾向にある子6人で、中学校では、学校を休みがちな子3人、キャロツ子学級に通級している子7人、在宅不登校傾向にある子7人、合計31人。

本年度から不登校児童生徒への訪問・連絡日誌を作成し、学校、教育委員会での情報の共有化を図り、関係者が連携しながら不登校の解消に努めている。

交通安全対策について

引き続き関係機関へ要望する



混雑する寿司松横交差点

問 寿司松横の県道檜藍住線に出る交差点は、昨年マルナカの出店により、鳴門方面からの車は裏道に流れ、事故多発地帯となっている。夕方には車の通る台数が多く県道に出られないこともある。この交差点に信号機設置を町として要望してほしい。

答 従来から意見、要望を頂き機会を捉えては、関係機関に対し要望等を行っているが、注意喚起する事故多発地点の看板設置にとどまっている。危険な交差点であることは、認識しており、今後も引き続き、交差点の安全確保に向けて、関係機関へ要望していく。

その他の質問

- （仮称）藍住町文化ホール公共施設複合化事業について
- 待機児童の解消について
- 小学校の運動会について

南海トラフ巨大地震に備えて

避難所運営リーダーの育成に取り組む



西川 良夫 議員

問 避難所生活で混乱やトラブルが発生すると、ストレスによる二次災害の危険性が指摘されている。快適な避難生活ができるよう避難所運営リーダーの存在が不可欠だ。現状と今後の運営リーダー養成について伺いたい。

答 避難所開設運営の訓練にも参加してもらい、施設などの現場の状況等を体験していただき、避難所で中心的な活動ができるリーダーの育成に取り組む。

避難システムについては、移行作業を進めたが、うまく移行できなかったため、今回、補正予算でシステム改修等を行う。データ移行は業者委託し、今年度からの運用を目指す。

SNSは、様々な場面においてリアルタイムの情報が提供でき、災害時の通信手段の確保や、住民サービスの向上にも利用できるシステムであると考えており、課題や問題点を整理する必要がある。現在、庁舎や町民体育館には設置、今後は各小中学校に設置する予定。



水道事業について

現状分析し、更新計画の策定準備を進める



老朽管の耐震化工事の状況（勝瑞中富線）

問 生活する上で最も大事とされる水について、今、各地方自治体が運営する水道事業は更新時期を迎えた水道管の取替えが資金不足で危機的な状況になっていると報道されている。本町の水道事業は今のところ健全経営を保っているが将来的にはどうなのか。町内全域に敷設された水道管の総延長と耐用年数を超えた更新区間の割合は何%か。また、更新計画の基礎となる水道管の敷設時期や場所の詳細なデータは存在するのか伺いたい。

答 将来人口の急激な減少も予想されていないため、災害等がない限りは今後も安定した経営が続けられると考えている。

平成28年3月末現在、町内には、約22.6kmの水道管が布設されており、そのうち6.5kmは石綿管が残っている。割合は2.9%。

長期的な更新計画の必要性は町も認識しており、今年度中に現状分析を行い、来年度中には、財政計画を含めた経営戦略を策定できるよう準備を進めている。

子育て・学校教育の環境

正確な情報を迅速に
キャッチできるよう努めている

問 小中学校と教育委員会との情報交換、報告が迅速かつ正確に行われているのか。

答 今年度から学級担任の訪問・連絡日誌を使い、スクールカウンセラーの先生や藍住町の青少年対策監が、在宅不登校の子供たちの家庭と連絡を取りながら、具体的な打開策を図っている。



高齢者福祉に関して

慎重に検討しなければならない課題

問 独居や高齢者世帯では、日常生活の買物、通院のための交通手段に困窮しており、支援策を求める要望が多数ある。

他市町では額面500円で24枚つづりの福祉券を発行し、タクシー代金の補助や通院のタクシー代金の半額補助などが行われているが、本町での支援策はあるのか。



徳元 敏行 議員

答 買物については、民間事業者による移動スーパーや宅配サービス、食事の配食サービスなどが充実してきており、利用の選択肢が広がっている。

通院については、コミュニティバスの導入だけでは解消は難しいが、タクシーでの通院となると料金の問題が発生し、その料金の負担の対象者や、どの程度負担するのかなど、財政面を含め慎重に検討しなければならない課題である。

のか。

将来人口の目標達成は

子育て支援の取組を積み重ね、目標達成に努める



平成27年4月に認可保育所となった「あおば保育園」

問 10年後の出生率1・8%（現在1・5%）を達成するための町独自の施策があるのか。出生率向上のために、第2子からの支援策についても検討してもらいたい。

料の軽減など、子育て世代に経済的支援を行う町独自の施策にも取り組んでいるが、保育所入所希望者の急増により、待機児童の問題が深刻化し、認可保育所を増やすなど対策を講じ、一日も早く保育所の待機児童の解消を図り、目標達成に努める。

友好都市 山形県河北町へ

議会議長 森 志郎

議会議員ほか町長、事務局長の18名により、友好都市・河北町と東京都江戸川区のタワーホール船堀への視察研修を実施しました。

今回の河北町訪問は、本町との友好都市締結25周年を迎えた河北町において、歴史・文化を生かしたまちづくりの取組を学び、また今後の友好交流に向けた一層の協力関係を推進していくためのものです。

当日役場入り口では、町長、議会議長ほかたくさんの方々が、議員、職員の方から大変な歓迎を受けました。

その後、町の概要等の説明を受けました。河北町は、面積52・45平方km、人口約1万9千人で、山形県のほぼ中央に位置し、紅花染め、さくらんぼ、地酒、米、スリッパ等の生産が有名であるとのことでした。

また、河北町においても自然動態（出生・死亡）、社会動態（転出・転入）両面での人口減少が見られるため、子供を育てやすい環境作りや就業機会の創出、町外からの世帯の定住促進を図っているとのことでした。

続いて、総合交流センター「サハトベに花」の説明があり、開館が平成7年、建設費が約40億円、平成18年度より（株）河北町に花の里振興公社に指定管理委託しており、平成27年度の管理委託料は6720万円、年間利用者は7万2千人とのことでした。

続いて、町議会の概要説明があり、議員定数は14名であり、特に、議会基本条例を平成22年12月定例会において制定して以後、毎年1回、住民対象に議会報告

会の開催や谷地高校生と意見交換を行い議会に関心を持っていたできるように努めているとのことでした。

現地視察では、サハトベに花のほか、今年6月にオープンした町民プール、紅花資料館などを見学しました。町長自らご説明いただき、ホールの客席数は807席、これは建設当時の町内中学生全員が入ることができる席数であり、満席になるような講演等は年に数回であるが、地方でも本物に触れる場合は、必要であるとの思いを語られていました。

町民プールでは、町民の健康寿命を延ばすため、特に冬の運動不足解消のために建設したとのことでした。

そのほか小中学校、認定こども園等を車窓から見学しましたが、教育、芸術、文化、健康づくりの調和のとれた町であると実感しました。

次の視察先のタワーホール船堀は、東京都江戸川区に所在し、開館が平成11年、総事業費が391億円、大ホール、イベントホール、商業センター、医療検査センター、女性センター、映画館などが入る複合施設であります。

大ホールは、客席数750席、平成18年度より全施設を（株）アターブル松屋に指定管理委託しており、平成27年度の管理委託料は3億8810万円、年間利用者は137万人とのことでありました。説明の中で特に印象に残った事が、大ホールの昨年の稼働率が77%であり、週末の利用の予約に際しては、ほぼ抽選になるとのことでありました。この高い稼働率に

ついては、江戸川区の人口は69万人であり、区民のサークル活動等が非常に盛んで、この活動を受入れるには、750席の大ホールの席数が使い勝手がよいとの説明がありました。

今回の視察研修で、河北町とは今後も更なる友好交流に向けた協力関係を確認するとともに、文化ホールについて、地方又は都市部における建設や運営について学ぶことができました。

本町の文化ホールの建設においても参考にしたいと思っています。



「サハトベに花」視察の様子（山形県・河北町）

定例会案内

次の定例会は12月です。
次号は2月に発行します。

本会議を傍聴しませんか

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。
議会や町政に関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

静岡県袋井市議会から 視察研修来町

8月25日、袋井市から大場正昭議員ほか5名の会派議員が来町されました。

行政視察では学童保育、独自の幼保一元化についての説明後、藍住南小学校から奥野児童館に通う児童の道筋をご案内し、奥野児童館を見学され、袋井市でも今後、体育館を建設予定とのことで町民体育館を見学されました。



議

員

研

修

報

告

四国四県町村長・議長大会 四国地区町村議会議長会研修会

9月29日、四国四県町村長・議長大会が愛媛県松山市で開催され

森志郎議長、森彪副議長が参加しました。

が参加、また、10月13日には四国地区町村議会議長会研修会が香川県高松市で開催され、



板野郡町議会議員研修会

10月19日、板野郡町議会議員研修会が北島町「創世ホール」で開催され、本町全議員が参加しました。

容について」講演が行われました。

北島町役場危機管理情報管理室・大月倫子氏より「災害時における議員と地域のかかわり」と題して、また、徳島県国土交通省徳島河川国道事務所・副所長、西山修氏より「浸水想定区域図の内



議会広報作成講座

8月23日、徳島市千秋閣において議会広報作成講座が開催され、徳元敏行議員、西岡恵子議員、鳥海典昭議員が参加しました。



徳島県女性議員視察調査

9月29日、美波町訪問看護ステーション海部において、女性議員連盟視察調査が開催され、西岡恵子議員が参加しました。



～町民になって思うこと～

藍住町に来て10年が過ぎます。空気と水がおいしい。緑の風が爽やかで自然に恵まれ、とても気に入りました。しかし、交通の不便が身にしみます。車も自転車も乗れない者は同じような不自由を感じているのではないのでしょうか。役場に行くにも、大変、難儀しています。特に、いろいろな書類の提出などの申請をしなければならないのが苦痛です。簡素化できないものかと。

また、病院通いが増える中で、年金暮らしにはタクシー代が生活を圧迫しています。小さなバスでJR駅を含む町内バスがあれば、どれほど助かるかと思っています。

高齢者が認知症予防を兼ねて趣味の会を持っていますが、集まる場所のないのに、頭も痛めています。10人から20人ぐらいが入れる公営の場所を安価で借りればサークルも増えるのではないのでしょうか。

秋の文化祭も開かれていることだし、発表の数も増えて、文化水準の向上にもつながると思います。

最後に、住吉神社の東側の歩道が非常に歩きづらいのです。私は九死に一生を得た経験をしました。このことを話すと、私も、私も、と転んだことを聞かされました。是非、検討していただきたいと思っています。心から、町の発展を願っている一人です。



議会のうごき

8月

2日 徳島県町村議会議長会定例会
町村議会議長・事務局長研修
(徳島市)
10日 西部補導センター定例監査
(板野町)

16日 徳島県後期高齢者医療広域連
合議会定例会(徳島市)
松友美佐紀選手準決勝パブリ
ックビューイング

17日 板野郡議長会定例会(北島町)
18日 松友美佐紀選手決勝パブリッ
クビューイング

23日 議会広報紙作成講座(徳島市)
25日 静岡県袋井市議会議員視察研
修来町

28日 藍住町防災避難訓練(西小学校)
29日 議会運営委員会
31日 第十堰対策促進期成同盟会
通常総会(徳島市)

9月

5日 議会全員協議会
9月議会定例会開会

6日 議会運営委員会
厚生常任委員会

7日 建設産業常任委員会
東中学校体育祭

11日 総務文教常任委員会
12日 9月議会定例会一般質問
15日 敬老のつどい

21日 国民体育大会壮行会
23日 9月議会定例会閉会

24日 各幼稚園・各小学校運動会

26日 板野東部消防組合議会臨時会
(北島町)

27日 松友美佐紀選手祝賀会(徳島市)

29日 松友美佐紀選手表彰式

29日 町村議会女性議員連盟視察調
査(美波町)

29日 四国四県町村長・議長大会
(松山市)

30日 なくせじん肺キャラバン要請
行動来庁

10月

2日 農業振興会設立40周年記念大会
5日 議員視察研修
(山形県河北町・東京都)

13日 四国地区町村議会議長会研修
会(高松市)

15日 身体障害者ふれあい大会
19日 板野郡町議会議員研修会
(北島町)

25日 自治体要請キャラバン来庁
29日 福祉・健康づくりフェスティ
バル



松友美佐紀選手凱旋パレードの様子

編集後記

藍住町・日本の誇り・
松友美佐紀選手の金メダ
ルに感動

「冷静な松友が絶妙な
コントロールで敵のウ
ィークポイントを攻め、
強気の高橋がスピードあ
るスマッシュを決める」
この言葉がぴったり。優
勝決定戦で逆転劇に拍手
喝采。

問題は、2020年東
京五輪・パラリンピック
招致の時に7340億円の
予算費用が、今では4
倍以上の3兆円を超える
というのは驚いた。

小池都知事は、3施設
の代替地を含めて大幅な
見直しを行っている。節
約したお金で、アスリー
トの家族の交通費や宿泊
費を支給するというのは
どうでしょうか。

(林 茂)

議会だより編集委員会

委員長	徳元 敏行
副委員長	西岡 恵子
委員	林 茂
委員	鳥海 典昭
委員	奥村 晴明